

InvisaPC IP 上でポイントツーポイント延長

InvisaPCソリューションでコンピュータを机上から安全で温度・湿度が管理されたマシン室に移動させて、InvisaPCトランスミッタに接続します。ユーザは、InvisaPC レシーバに接続された自分のキーボード、モニタ、マウス、周辺機器を使用します。
レシーバはローカル CPU で動作しているアプリケーションと同じように、高性能かつリアルタイムに動作します。
クライアントとサーバは、標準的なローカルエリアネットワーク（LAN）かワイドエリアネットワーク（WAN）インフラで接続されます。必要な帯域幅が非常に小さいのでレイテンシ（遅延時間）が小さく、インターネット経由で延張でき、企業ネットワークを共有できます。

将来のニーズへの適応

InvisaPC は、将来のニーズに簡単に適応します。1 人のユーザが複数のコンピュータと仮想マシンにアクセスできる小型の切替システムからスタートし、徐々にシステムをマトリクス切替システムに拡張できます。

柔軟なリモートアクセスで利便性の高い作業環境

クライアントは非常に静かに動作します。ユーザの作業を邪魔するようなファンノイズ（換気扇騒音）はありません。
消費電力は1台あたり約 6 Wです。省スペース設計の InvisaPC レシーバを、モニタの後ろに搭載することもできます。
InvisaPC のようなデバイスでクラウドコンピューティングに移行することで、IT マネージャは柔軟、迅速に作業ができます。

物理マシンから仮想マシンへ緩やかに移行

InvisaPC ソリューションは、実際のデスクトップから仮想サーバ環境へスムーズに移行できます。
システムは、ラックに搭載された PC と仮想デスクトップを統合します。
ユーザのフロントエンドを変更することなく、両方が混在した用途に対応するよう設計されています。デスクトップ仮想化は、複数の仮想デスクトップをホストするサーバを通じて展開されます。トランスミッタにより、IP ネットワーク上でデジタルビデオ、キーボード、マウスに対応します。　これは標準規格のため、機器、ソフトウェアライセンス、リモート管理の変更はありません。また、IT 担当者の訪問も不要なので時間がかかりません。

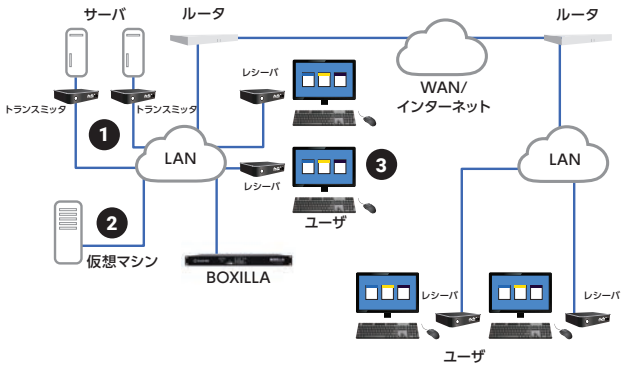
- DVI-D ビデオと USB-HID の延長とスイッチングのための IP ベース LAN / WAN ソリューション & クラウドベースマトリクス切替
- IP 上でポイントツーポイント延長を提供（LAN 経由でリアルタイム、インターネット経由で低遅延）。トランスミッタ経由で最大 32 台までの仮想マシン / 物理的コンピュータを切替・延長
- 1080P の動画解像度でも最大 35Mbps という非常に低い帯域幅で十分
- 拡張可能なソリューション 小規模なポイントツーポイント延長でスタートし、マネージド マトリクス 切替システムへ拡張。最大解像度 1920 x 1200、コンパクトでファンの無い設計
- リモートデスクトッププロトコル（RDP 7.1 と RDP 8 または REMOTE FX）シームレスリッチメディア、USB リダイレクション、強化されたセキュリティ & コンプライアンスを提供
- 物理的世界と仮想的世界をシームレスに統合



InvisaPC レシーバ
DTX1000SA-R



InvisaPC トランスミッタ
DTX1000SA-T



1. ソース CPU を備えた InvisaPC トランスミッタ (DTX1000-T)
2. RDP を搭載したホストサーバ、例えば MS SERVER 2008 R2 や RDP 仮想化セッション用CALS
3. キーボード、モニタ、マウスの設定を含むワークステーション、CPU へのリモートアクセス用の InvisaPC レシーバ (DTX1000-R) とサーバ。 InvisaPC はエンドポイントを無制限に延張可能